

# 府障教ニュース

大阪府立障害児  
学校教職員組合  
大阪市天王寺区  
東高津町7 11  
府教育会館704号  
(TEL)6765-8904  
(FAX)6765-8905

## 府障教・市障教 専門部交渉

7月28日、府障教は市障教とともに専門部交渉を実施しました。7専門部31人が参加し、重点要求について府教委の見解をただし、勤務労働条件の改善を求めました。

### 栄養職員部

アレルギー対応等の負担軽減のため栄養教諭を複数配置するなど労働条件の改善を求めました。しかし、府教委の説明は、「法令に基づき栄養教諭については、給食を実施する学校に1人配置としている」という従来通りのものでした。

調理従事者の変更が頻繁にある、仕様書が守れないなどの委託業者側の問題によって、栄養教諭の業務負担が深刻化している実態も合わせて訴えました。府教委は、民間委託事業者に課題が生じた場合については、今後とも、必要に応じて、学校と府教育庁が連携して対応して、指導を徹底してまいりたい」と説明しました。

### 事務職員部

SSC本格稼働にともなう事務職員削減の撤回や、大規模校の実態に応じた加配を緊急に行うことなどによる、事務職員の負担軽減を求めました。府教委は標準法に基づく配置を基本として学校の事

### 女性部

保育特休・家族休暇の復活や、不妊治療にかかる特別休暇の創設を求めました。府教委は、より府民の理解を得られる制度にする観点から、民間状況も一定反映されている、国制度を基本に見直しを行い、平成22年度から実施してい

### 臨時教職員問題対策部

臨時教職員任用の空白期間を無くすことなど、正規教職員との均等待遇をはかるよう求めました。府教委の説明は「定数の範囲においては正規教員の任用が基本」としながら、臨時的任用職員の任期については、地方公務員法第22条第2項の規定をふまえ

情も考慮しながら配置を行っているところである」と説明にとどまりました。障害のある事務職員への合理的配慮についても、法律の改正等を踏まえ、今後とも適正に対応してまいりたい」と

### 青年部

るところであり、その他の休暇の拡充や新設は困難」との従来からの説明を繰り返しました。女性部は、不妊治療を受けている当事者の声をもとに、経済的・精神的な負担について具体的に示し、病気休暇の対象とするなど、何らかの支援策を検討するよう訴えました。

育児短時間勤務の代替措置については、短時間勤務を行う職員の勤務時間と、正規の勤務時間との差に相当する非常勤職員等を措置する」との説明にとどまりました。

対応してきたものである」と等といふものにとどまりました。臨時技師(看護師)の賃金改善についても、給与条例等に基づき、知事部局と同様の処遇としているところ」との説明にとどまり、府障教・市障教は、一刻も早く正規職員としての配置に向けて、検討を行うよう求めました。

の説明にとどまり、人員配置など合理的配慮の具体的な説明はありませんでした。また、年休取得の会計年度から暦年取得への変更については、様々な観点から引き続き研究してまいりたい」と説明しました。

### 寄宿舎教員部

初任者研修における負担軽減の具体的方策、とりわけ初任者が課題提出の際に必要なとされている、校長サインをなくするなど、手続きの簡略化を訴えました。また、青年教職員の苛酷な勤務実態を具体的に示し、長時間過密労働解消のための実効ある措置を講じるよう求めました。

府教委は、研修課題について、初任者がとりくみやすいよう工夫している」と等と説明し、「サイン」については、添削というよりも、内容を確認するという感覚を持っている」と説明しました。業務負担軽減については、教員の意識改革など、学校現場での教職員の多忙化解消に向けた先進事例の紹介など、多忙化解消に向けた方策を実施してまいりたい」と説明しました。

寄宿舎教員への再任用制度短時間勤務の適用と、介護休暇・病気休暇等の代替者の常勤職員配置を求めました。府教委は再任用制度については、短時間勤務を導入すると、ローテーションを組むことが困難であるためフルタイム勤務としている」とし、代替配置については、業務に支障が出ないよう、また、各学校の状況をお聞きしながら適切に対応してまいりたい」と説明しました。寄宿舎教員部は、夜10時以降の人員配置は子どもの安全のためにも必要だと常勤職員による代替者を求めました。

府障教ホームページアドレス <http://www1a.biglobe.ne.jp/fushou/> Eメール アドレス : fushoukyou\_1@mtb.biglobe.ne.jp



2012年末の第2次安倍内閣の発足以来、それまで減少傾向だった軍事予算が増額に転じました。2013年度から4年連続で増え続け、ついに2016年度は史上初めて5兆541億円にまで膨れ上がりました。防衛省が8月31日に決定した2017年度の概算要求は、それをさらに増やして1143億円で積み上げようとしているのです。

防衛省は今回の概算要求について、統合機動防衛力の構築に向け、引き続き防衛力整備を着実に実施するためとしています。統合機動防衛力とは、陸・海・空の自衛隊が一体となって、海外派兵など多様な軍事作戦を迅速かつ継続的に展開することを狙ったものです。

具体的には米海兵隊をモデルにした水陸機動団を創設するための装備として、オスプレイ4機(393億円)・水陸両用車11両(84億円)・大型輸送艦の改修(12億円)を計上しました。その他、最新鋭戦闘機6機(946億円)・空中給油機1機(318億円)も要求しています。こうした装備は、とても国防のためには思えません。さらに、在日米軍への思いやり予算は、今年度よりさらに26億円増やして1946億円を求めています。米国の減額拒否を受けた露骨な大盤振る舞いと言えるでしょう。

大学や研究機関などに対して、武器開発のための研究費を提供する制度には、110億円が要求されました。16年度当初予算から18倍もの増額で、研究者を買収しようとするものとして許せません。海外で競争する国づくりを進めるためのこうした軍拡予算にストップをかける大きな運動が求められます。

# 歌って遊んで楽しく学ぼう！

## 二本松はじめさん講座

7月8日、「ぴかりん」の愛称でも知られる二本松はじめさんを講師にお招きし、新任歓迎実技講座「すて技！つながりあそび」を市障教と共同で開催しました。「歌って遊んでつながって楽しく学ぼう！」と各職場からたくさんの方の申込みがありました。当日は約80人の参加者で、会場は歌声と笑顔に包まれました。



講師の二本松はじめさん

まずは二本松さんより、歌あそびの楽しさを先生自身が経験して、一緒に子どもたちの可能性をみつけていきましよう」と呼びかけがあり、さっそくギター演奏が始まりました。二人一組になって元氣いっぱい」というあいさつの歌に合わせて自己紹介をしました。初対面同士のペアもあり、少し照れくさそうな雰囲気もありましたが、肩を組んで歌ったり、体全体で「グッ」パーを表現したりしました。そのうちに気持ちも体もほぐれてきて、いつの間

にか笑い合いながらみんなが一つになって、思い切り体を動かして楽しみました。二本松さんは、実技の合間に子どもたちとのエピソードも話してくださいました。「手遊びや絵本めくりを『みんなの前でやりたい人？』と促してもなかなか出てこないが、一人目が出てほめられたら次に自分もやりたいという子がどんどん出てくる」「じゃんけん遊びで『先生と同じ手を出してあいこなら1点というルールにしたなら、せめて1回はあいこになりたいのが子どもの気持ち。その気持ちに先生から近づいてあげること大切』などです。歌い方や遊び方だけではない、実践のヒントを得ることができるエピソードでした。



楽しく体を動かす参加者

もの様子を楽しむ。二重に楽しめる。先生っていい仕事だね」と言っていて、私たちを励ましてくださいました。その上で『誕生日』の歌には「自分が生まれて良かったと思える力を育むことや、生きていて良かったという時代を作ることが大切」と語られました。

最後にみんなで座って紙芝居を見ながら『夢わかば』の歌を聞きました。歌が終わって二本松さんは、「ちいさなゆめのたねは、それぞれ好きな季節に好きな色の花を咲かせる事ができるように、いっせいに同じ季節に同じ色の花を



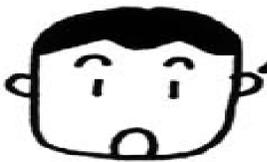
知らない人ともすぐうちとけました

咲かせようとはしない。笑顔の中で子どもを育てよう。そして先生たち自身もゆとり育ってほしい」と語り、講座を締めくくりました。

### 参加者の感想より

初めて会った人とも歌を通して仲良くなれてよかったです。自分の授業でもやってみたいと思います。普段、つい「疲れた」と言ってしまうことに反省しました。月曜からまた子どもとの毎日を楽しみたいです。「楽しい」というのが大切なんだなと思いました。大人が楽しみ大人がはじめることで、子どもたちも心から楽しみ活動できると改めて実感できました。子どもの頃に帰ったように、普段では出さないような大きな声で、みなさんととても楽しく遊ぶ事ができました。ぜひ授業等で活用させていただきたいと思います！

## 先輩に聞こう！ Vol.10



分掌長や学年など、いろいろな役割を担い、後輩に教える立場になりましたが、どのように伝えていけばいいのが悩んでいます。  
和田裕二（寝屋川支援学校分会）10年目

こういう風に考えれば...

まず、「後輩に教える立場になった」という自覚はとても大切ですね。そしてその後輩は何を求めているのかを念頭におくことと、あなたが何を伝えたいのかを明確に持つことが大切ではないでしょうか。伝える方法としては、『会議』が重要です。会議で大切なことはみんなの意見ができるだけ出やすくすること。そのためには司会を必ず立てることと、議案に工夫「自分はこうしたいがどうか」など議論できるように)などが必要です。

また、質問されれば丁寧に答え、分からないことはあいまいに答えず、調べて後日早い時期に答えるようにしましょう。日常的なあいさつを始め、つながりやコミュニケーションを大切にすることも信頼のベースとなるものです。お互いの信頼関係が無くては、せっかく良いアドバイスができて、相手には伝わらないこともあります。

最後に、生徒に対してもそうですが、「ほめる時はみんなの前で、指摘するときは1対1で、必要に応じて個別に話すことも大切です。こうしたことを心がけてみてはどうでしょうか。(福田徹 堺支援学校分会 38年目)

